



学校だより

12月号
横浜市立桜台小学校
2018年11月30日発行

行事の季節を振り返って

校長 西尾 琢郎

小学校の秋は、まさに行事の季節です。私自身が子どもの頃には、運動会と文化祭（地域や学校によっては「学習発表会」などと呼ぶこともありました）がその代表格でしたが、今では、より多くの行事が、学年それぞれに目白押しになっています。本校においては運動会も、秋にその居場所を失い、春に挙行されることになっているほどです。そうした行事ラッシュの秋を、少し振り返ってみたいと思います。

まずは、9/30～10/1に行われました6年生の修学旅行から。昨年度より、電車からバスへと交通手段を改めましたこの日光修学旅行は、2年目の今年はなんと台風24号の直撃を受けることになってしまいました。各地に大きな被害をもたらしたこの台風ですが、ギリギリまで各種情報の収集と精査に努めた結果、実施を決断。出発前夜に保護者の皆さんにご連絡し、当日は予定通り学校を出発いたしました。結果としては宿舎が夜間、停電に見舞われるハプニングはあったものの、安全上の大きな問題は発生せず、無事に旅程を終えて帰ってくることができ、ホッと胸をなでおろしました。

続いては、地域行事のひとつである学園通りコンサートです。このコンサートにはこれまで、本校の特設器楽クラブが出演してまいりましたが、本年は初めての試みとして、3年生の全児童が、授業で取り組んできた合唱と演奏を披露しました。区の小学校音楽会が、会場規模の制約で一部児童しか参加できないため、それを補う発表の機会として、これも意味ある取り組みとなったのではないかと考えております。

そして5年生の愛川宿泊体験学習です。例年雨に祟られることが少なくなかった行事ですが、本年は天候の影響も最小限で、予定通りの活動を行うことができました。子どもたちの達成感にも大きなものがあったようです。

次にまたも6年生、横浜市小学校体育大会です。日産スタジアムの改修工事のため、本年度は三ツ沢競技場を舞台に開催されました。児童は全員、学校から往復の道のりをたくましく徒歩で踏破し、現地では立派な競技・演技を見せてくれました。

10月最後の行事は、保土ヶ谷公園への全校遠足です。毎年、5年生が中心となって企画や運営に取り組むこの遠足は、6年生から5年生へと、学校のリーダーシップをバトンタッチしていくための出発点に位置づけられています。

また同月にはPTA主催の給食試食会が開催され、参加の保護者の皆さまには、本校の食育活動について知っていただくよい機会になりました。またDeNAベイスターズ選手による訪問授業もあり、これも子どもたちにとっては忘れられない体験となったことでしょう。

月は替わって11月。5・6組の合同宿泊体験学習、そしてオープンスクール&地域防災教室が実施されました。前者は保土ヶ谷区各小学校の個別級児童が集まったの体験学習であり、子どもたちの可能性を見出し、引き出し、伸ばす大切な機会となっています。後者は本年2年目を迎える行事ですが、お子様の成長の様子をご覧いただく授業参観と併せて、地域防災拠点の訓練に親子でご参加いただくことで、学校を接点に、家庭と地域が一体となって、災害からこの町と子どもたちを守る力を高めていくため、今後更に内容の充実を図って参りたいと考えております。

学年ごとの遠足や校外授業、鑑賞教室、他校との球技交流会、そしてPTAバンドのコンサートなど、書き切れないほどの行事が、この時期、他にも続々挙行されています。またの機会にご紹介させていただければと思います。どうぞこれからもご理解とあたたかい声援をお寄せいただければ幸いです。